このリリースを含めた情報解禁は令和 3 年 10 月 15 日 17 時メド（新聞各社様 16 日付朝刊）とさせていただきます。
重要文化財指定に関する件は、本日、文化庁・愛知県・犬山市が同時発表しております。
この資料は、東海交通研究会・中部芸術文化記者クラブ・犬山記者クラブに配布しております。

博物館
明治村

ニュースリリース

報道関係各位　　令和 3 年 10 月 11 日

「ゐのくち渦巻ポンプ」が重要文化財指定へ
―「鉄道寮新橋工場・機械館」展示特別ガイドを実施―

博物館明治村（犬山市内山1番地　理事長：山本　亜土）「鉄道寮新橋工場・機械館」で展示している歴史資料「ゐのくち渦巻ポンプ」は、10 月 15 日（金）に開催される文化審議会文化財分科会の答申を受け、重要文化財（歴史資料）の指定を受ける運びとなりました。

なお、博物館明治村の重要文化財としては、平成 29（2017）年に指定された建造物「西園寺公望別邸『坐漁荘』」以来 4 年ぶり、および歴史資料としては平成 13（2001）年に指定された「菊花御紋章付平削盤*」以来 20 年ぶりとなる、14 件目となります。

博物館明治村ではこれを記念し、下記のとおり、10 月 16 日（土）・17 日（日）に「鉄道寮新橋工場・機械館」の展示特別ガイドを行います。

記

1 「ゐのくち渦巻ポンプ」
（1）展示公開日／昭和 44（1969）年 3 月 18 日
（2）展示場所／鉄道両新橋工場・機械館」（博物館明治村内 4 丁目 44 番地）
（3）詳細　別紙をご参照ください。

2 「鉄道寮新橋工場・機械館」展示特別ガイド
（1）日　　時／令和 3 年 10 月 16 日（土）・17 日（日）
①11:20～　②14:00～　※各回 30 分程度、20 名／回
（2）会　　場／鉄道寮新橋工場・機械館（博物館明治村内 4 丁目 44 番地）
（3）料　　金／無料　※入村料別途必要
（4）内　　容／当館ボランティアスタッフが、ゐのくち渦巻ポンプが展示されている「鉄道寮新橋工場・機械館」にて、ゐのくち渦巻ポンプをはじめ、明治時代のさまざまな機械をガイドします。
（5）備　　考／・混雑時は人数制限を行う場合があります。（各回 20 名）
・新型コロナ感染拡大防止のため、マスク着用・手指消毒等にご協力をお願いいたします。

以上

*「菊花御紋章付平削盤」の所有者は岩手県です。昭和 44 年 3 月に「鉄道寮新橋工場・機械館」に出品され、今日に至っています。

＜ この件に関するお問合せ ＞
博物館明治村　／　担当　中野・長久・反端
〒484-0000 愛知県犬山市内山 1 番地　TEL0568-67-0314　FAX 0568-67-0358
HP：https://www.meitetsu-impress.jp/inquiry/inquiry_mvpress.html

別紙

【ゐのくち渦巻ポンプ】

1　基本情報

製作年　明治 45（1912）年
製作者　合資会社国友機械製作所
寸　法　総高 176.5cm　総長 188.2cm
　　最大幅 144.2cm

2　概要

東京帝国大学工科大学機械工学科教授の井口在屋（いのくち ありや、1856～1923）が研究した理論に基づき、教え子の畠山一清（はたけやま いっせい、1881～1971）が所属する合資会社国友機械製作所が明治 45 年に製造した**渦巻ポンプ**です。

鉄製、鋳造、両吸込式で、口径 15 インチ（約 38 センチメートル）です。中央部に回転する羽根車と固定される案内羽根（あんないばね）をもち、外縁部に環状の渦巻室を配する構造で、ポンプ効率の向上を達成したものです。

3　本ポンプの指定理由

本ポンプは、その優れた機能性により 20 世紀前半を中心に多量に製造され、農業・鉱工業など諸産業の発展や、上下水道など生活基盤の充実に貢献した**井口式渦巻ポンプの最初期かつ現存最古の伝存例**です。

また、教官が西洋の渦巻ポンプの理論を整理、体系化し、弟子が製品化、量産化を達成した**高等教育モデルの成功例**であり、わが国の機械工学史、社会経済史上に重要です。

※井口在屋
安政 3（1856）年石川県金沢生まれの、機械工学者。工学博士。工部大学校機械科を首席で卒業し、イギリス留学等を経て明治 29 年から東京帝国大学教授。機械工学の様々な分野で優れた研究成果を挙げ、特に「渦巻ポンプの理論」とその実用化に尽力。大正 12 年没。

「ゐのくち渦巻ポンプ」は日本機械学会より「日本国内の機械技術面で歴史的意義のある機械遺産である」として、「機械遺産」（第 9 号）に認定されています（平成 19 年 8 月）。

＜明治村の重要文化財は以下の通りです。（指定日）＞

①聖ヨハネ教会堂（昭和 40 年 5 月）、②西郷従道邸（同）、③東山梨郡役所（同 41 年 6 月）、
④三重県庁舎（同 43 年 4 月）、⑤札幌電話交換局（同）、⑥品川燈台（同）、⑦菅島燈台付属官舎（同）、
⑧東松家住宅（同 49 年 2 月）、⑨呉服座（同 59 年 12 月）、⑩宇治山田郵便局舎（平成 11 年 5 月）、
⑪リング精紡機（同 11 年 6 月）⑫菊花御紋章付平削盤（同 13 年 4 月）、
⑬西園寺公望別邸「坐漁荘」（同 29 年 2 月）、**⑭ゐのくち渦巻ポンプ**